

2026年 学術講演・FD研修のご案内

## 【タイトル】生成AIを活用した教育研究の進め方

【日時】2026年3月12日（木）16時40分から18時（途中入退出室可）

【会場】教育学部B棟3階 B303教室 および Zoom

【対象】生成AIが教育研究にどのように活用できるのかに関心をもつ教員

【講師】山内 豊（教育学部教授）



【指定討論者】金子朋子（理工学部教授・教育・学習支援センター長）

【概要】 「急速な進化を遂げている生成AIをどう適切に活用するか」は極めて重要なテーマの1つです。本講演では、生成AIが持つさまざまな機能の中で、**どの機能をどの場面でどのように活用すると効果的か**について具体的に平易に解説します。

- (1) 国内外の多くの文献から研究テーマに関係した論文を検索し、各論文の要旨を一覧表示する方法
- (2) 国際会議で英語で口頭発表し質疑応答する準備や練習に生成AIの音声対話機能を活用する方法
- (3) 科研費の研究計画調書の質と内容を生成AIで高める方法
- (4) ゼミ生を国際会議発表までに導く活用法

山内豊ゼミでは、学部4年生が卒業研究を審査つきの国際会議に応募し、研究成果を国際舞台上で発表することをほぼ毎年行っています。

2026年度もカンボジアの首都プノンペンで開催された2千人規模の国際会議でゼミ生4名が**生成AI活用に関する研究発表**を個別に行いま

した。生成AIを使って、学部学生の研究内容を高める方法、科研費を獲得して学生を国際会議に連れて行く方法も紹介します。「学習者がAI依存で真剣に考えなくなる」という批判に対して、「望ましいAIの活用法」についても議論する予定です。



### 【講師略歴】

コロンビア大学大学院（Teachers College）修了。専門は英語教育学・教育工学。東京学芸大学附属中学校・附属高校の英語教諭を経て現職。文部科学省の審議会委員、学習指導要領作成委員、全国学力調査問題作成委員、デジタル教科書導入の有識者会議委員、NHK「えいごリアン」の番組企画委員などを歴任。現在は、生成AIを英語教育でテスト・評価に活用する科研費による研究を進めている。[yutaka@soka.ac.jp](mailto:yutaka@soka.ac.jp)

参加をご希望の方は、zoom情報をお伝えしますのでメールにてお問い合わせください。